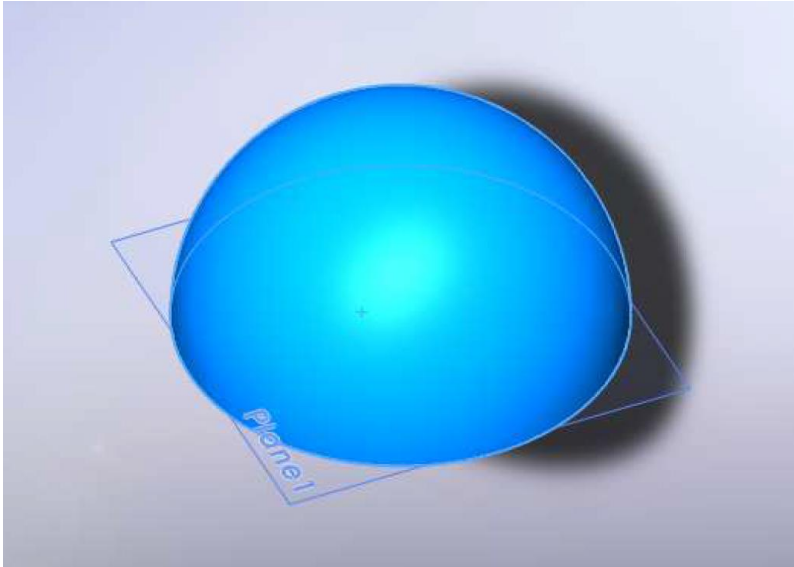
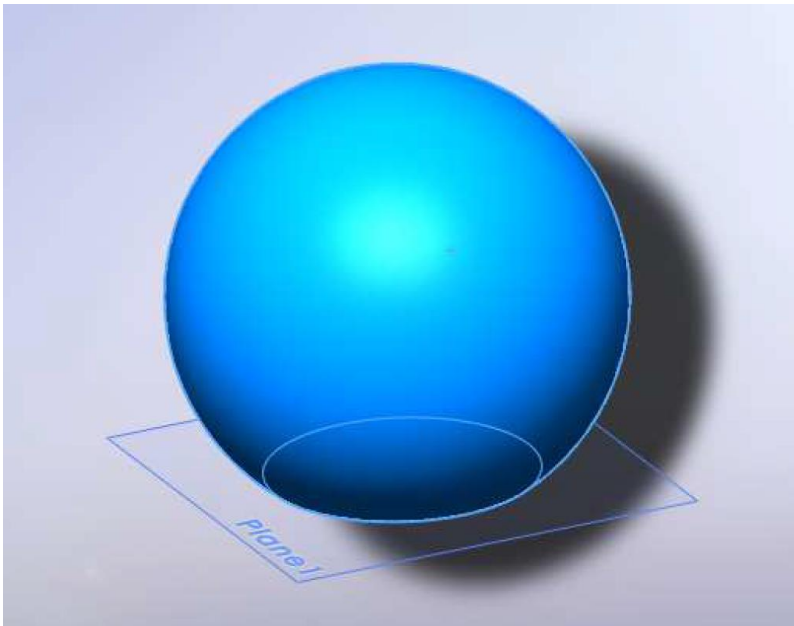


# Cap Surface

キャップサーフェスは、平面または座標系に基づく単純な球面です。  
入力として平面または座標系を入力し、半径と高さを追加して球を作成します。  
次の図は、半径500mm、高さ500mmのキャップサーフェスの例です。（半球）



こちらは、高さを900mmに変更した同じキャップサーフェスです。

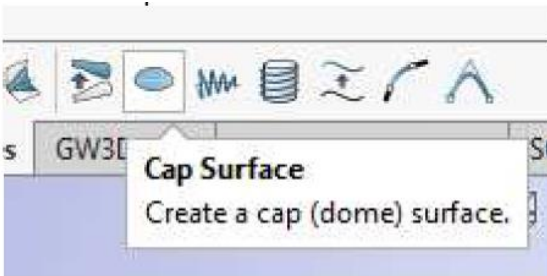


注：高さは半径の2倍を超えることはできません。

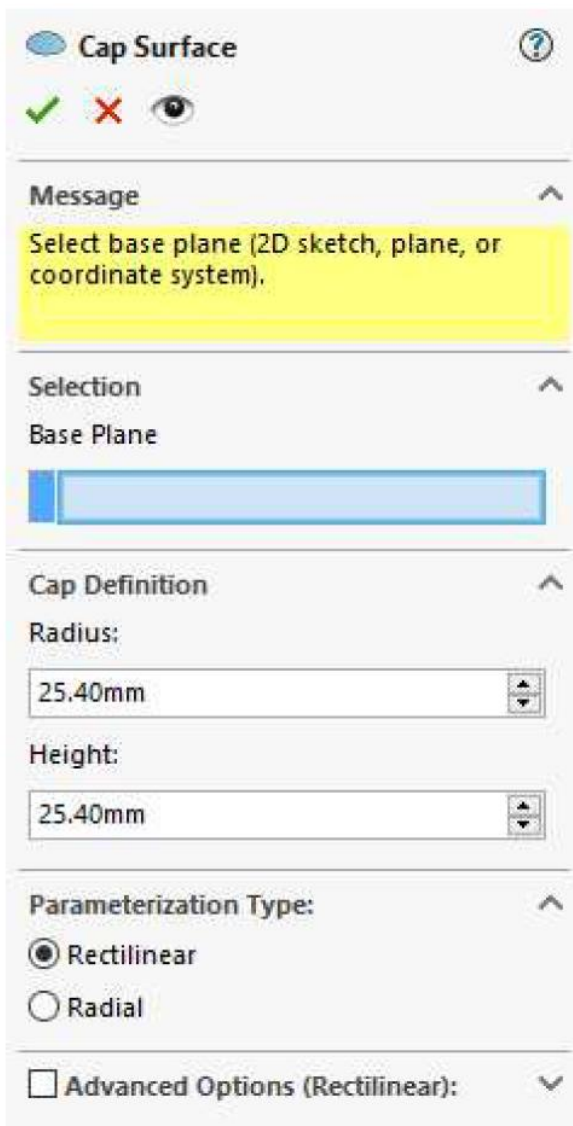
# Creating a Cap Surface

キャップサーフェスを作成する手順は、最初に平面または座標系を作成することです。

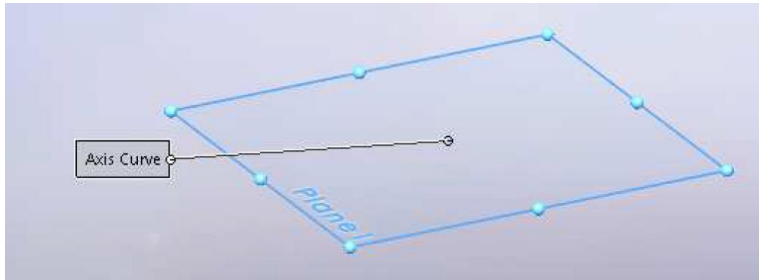
1. GW3Dメニューから[Cap Surface]を選択します。



2. [Cap Surface]メニューが表示されます。



- 3.この場合、平面を選択しています。システムは平面の中心を識別します。  
これはキャップサービスの縦軸です。



- 4.半径と高さを入力します。

Cap Surface ?

Message ^

Select base plane (2D sketch, plane, or coordinate system).

Selection ^

Base Plane

Plane1

Cap Definition ^

Radius:

500.00mm

Height:

500.00mm

Parameterization Type: ^

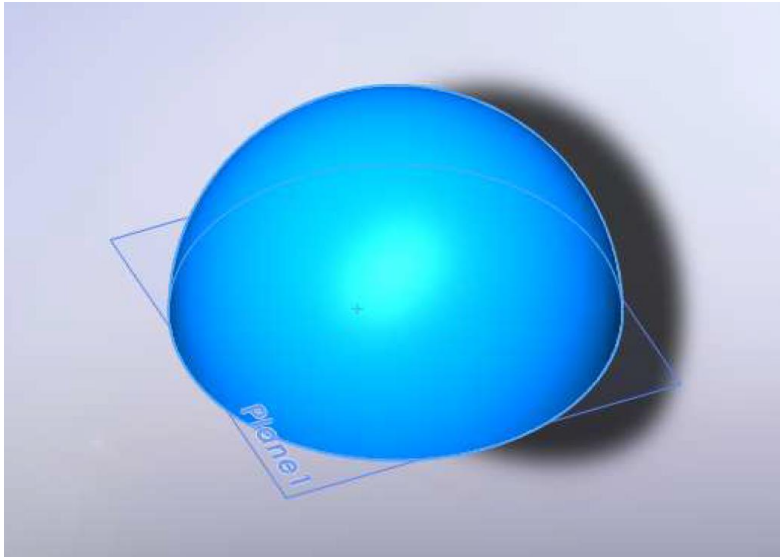
Rectilinear

Radial

Advanced Options (Rectilinear): ∨

- 5.パラメータ化タイプを選択します。 Rectilinearは最高のサーフェスを作成します。  
Radialは球の上部に特異点を持つ円筒座標を使用したサーフェスを作成します。  
これにより、後続の操作でのキャップサーフェスの使用に問題が発生する可能性があります。

- T  
S
- 6.プレビューをクリックして、キャップサーフェスを表示します。  
必要に応じてパラメータを調整し、チェックマークをクリックして  
完成したキャップサーフェスを作成します。

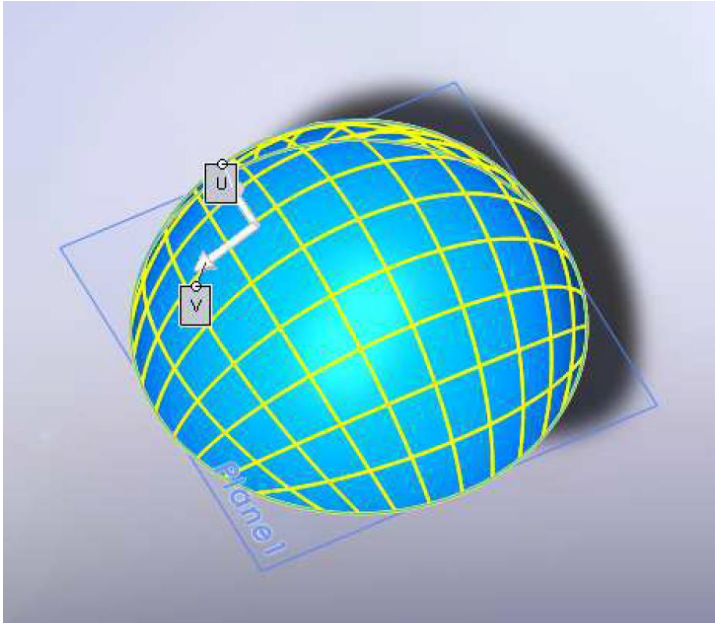


座標系からキャップサーフェスを作成することも同じです。  
ベース平面はXY平面から生成され、キャップサーフェスは正のZ方向に伸びます。

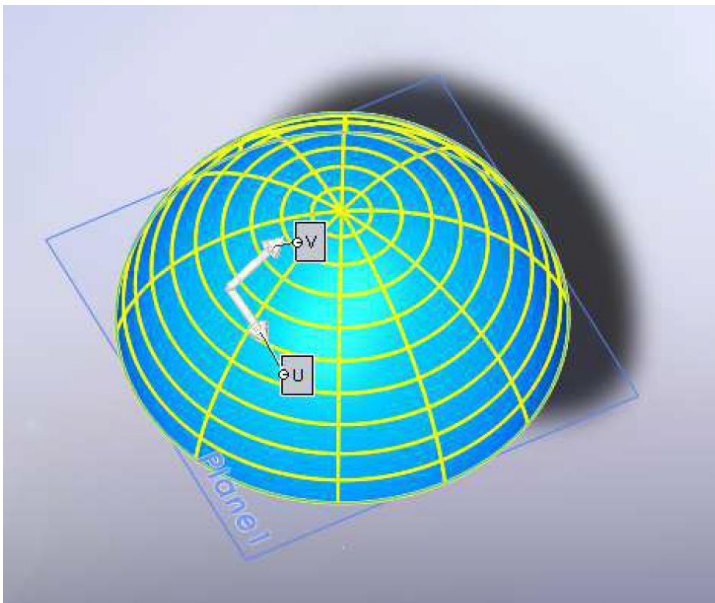


## Rectilinear versus Radial

次の図は、RectilinearのキャップサーフェスとRadialのキャップサーフェスのUVラインを比較したものです。



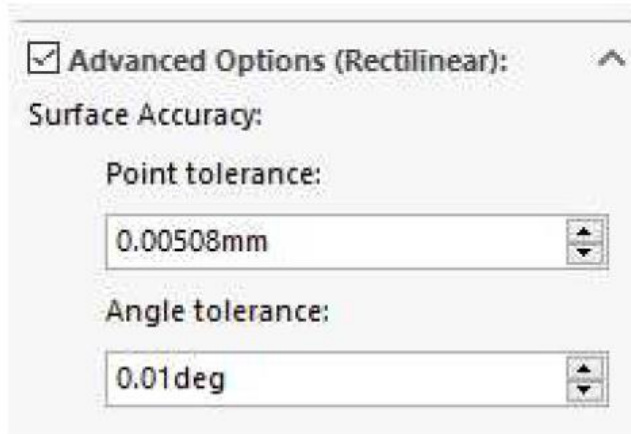
Rectilinear Cap Surface



Radial Cap Surface

# Advanced Options

詳細オプションは、キャップサーフェスの公差設定を提供します。



Advanced Options (Rectilinear): ^

Surface Accuracy:

Point tolerance:

0.00508mm

Angle tolerance:

0.01deg

ここで、ポイント公差と角度公差を設定できます。